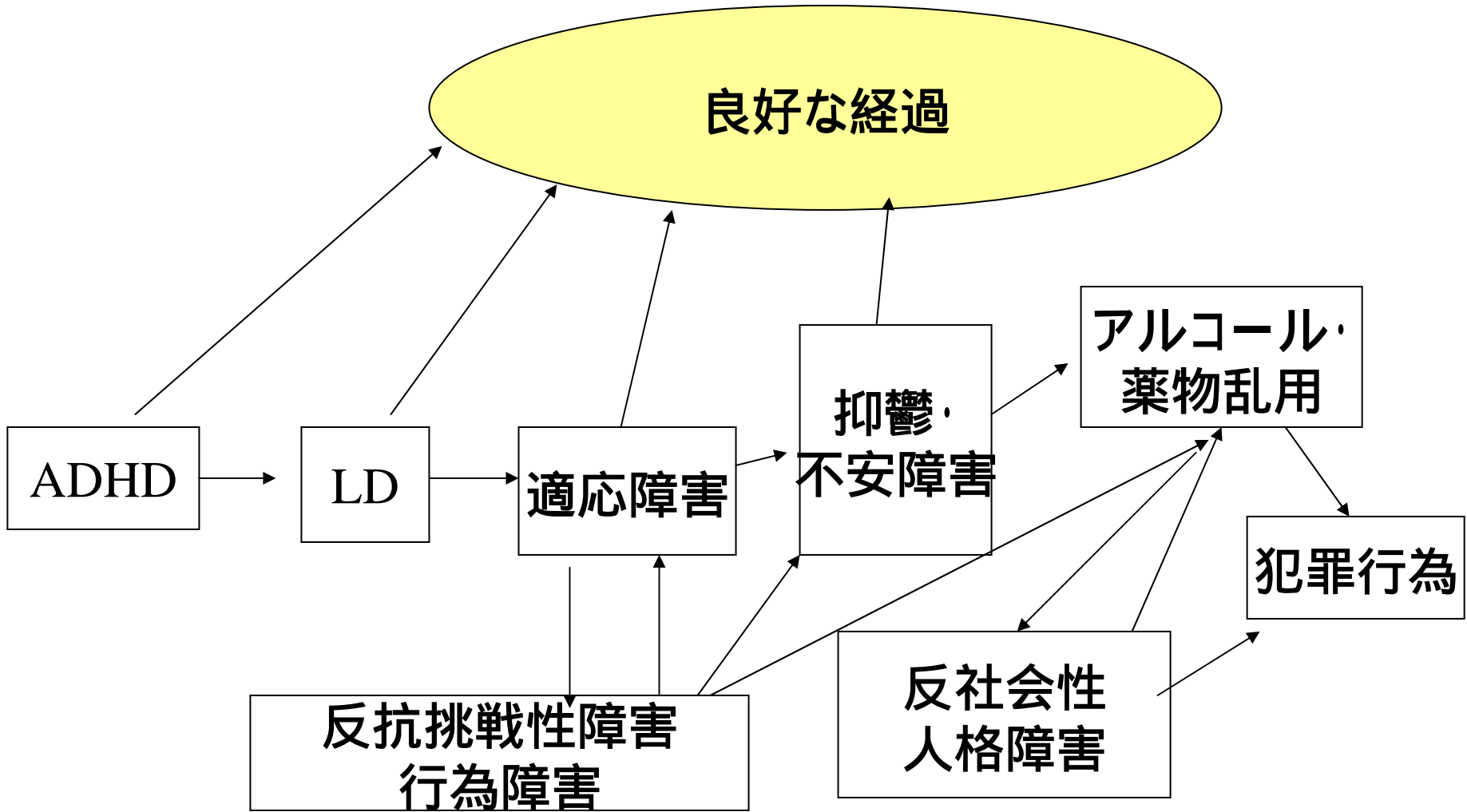


行為障害とその対応

ADHDからつながる悪循環



行為障害の定義(資料)

- 鑑別診断(奥村・岩堀,2001)
 - 行為障害の可能性を念頭に置き、操作的診断基準
 - 事実の認定
 - 合併する精神疾患の有無
- 鑑別診断の実際

行為障害への対応

- 親に対する訓練

親が自分の子どもをコントロールできること

- 自己解決を援助する

自分で問題解決することを教える

- 個別の指導計画の作成

大人間の共通理解と指導の一貫性

- 関係機関との連携

家庭、学校、専門機関、警察、児童相談所など

親を訓練する

- 行為障害への知識
- 行為障害に対応するためのスキル
 - 良好なコミュニケーションなど
- コンサルテーション
 - 親自身の問題として考える
 - 自分も目標を立て実行

親支援プログラム

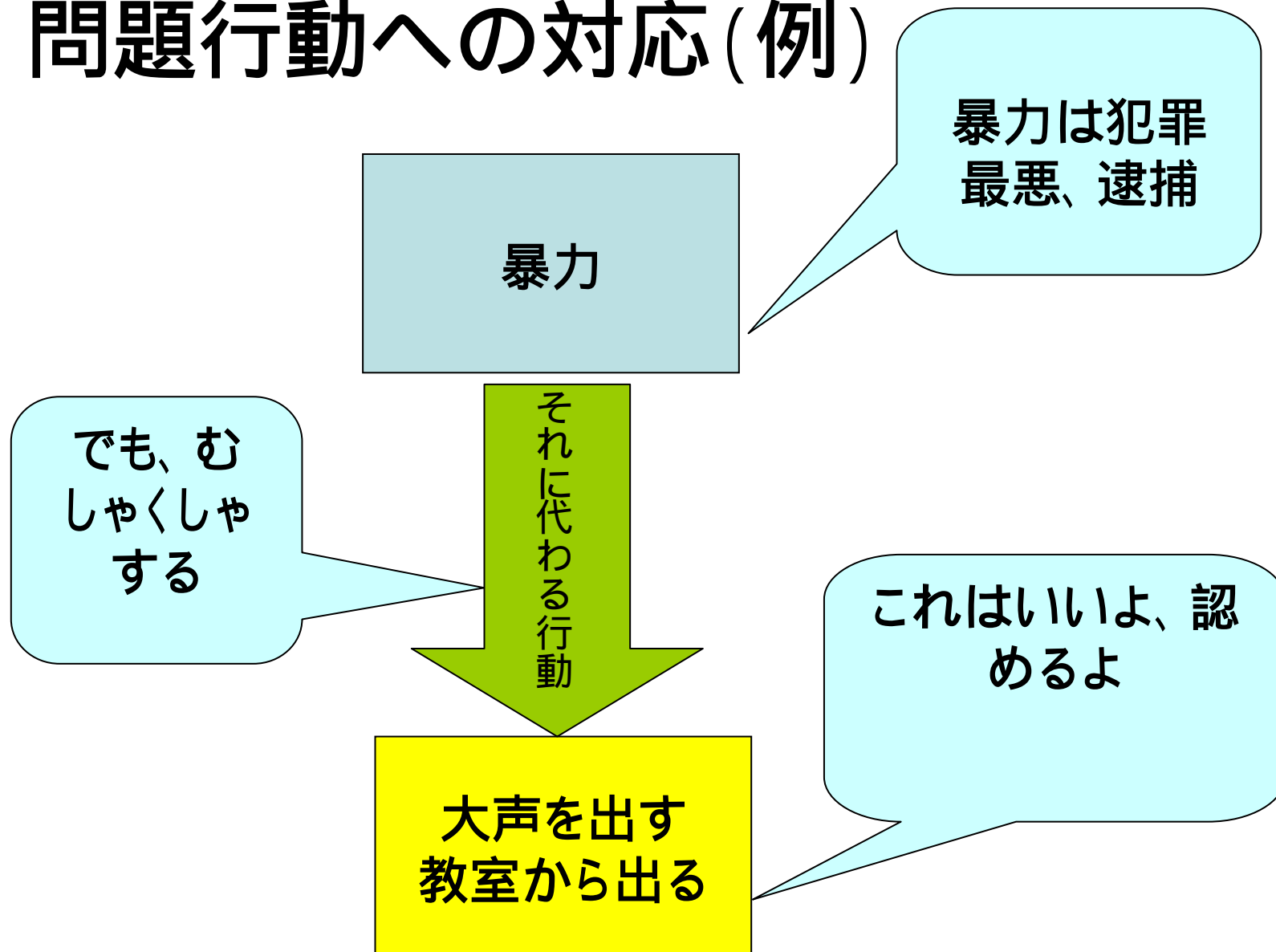
家族援助の基本(生島,2003)

- 親に原因はないが責任はある。
- 「必ず立ち直れる」を強調する。
- うまくいっていることは続ける。
- 親が一致する必要はない。
- 言わなくてもいいことは言わないが、言うべきことはきちんと言う。
- 付和雷同はよくないが、一緒に揺れてやることも必要。

自己解決を支援する

- 目標の設定
 - 理想とする姿
 - できることとできないこと
- 計画の作成と実行
 - どのようにして実行するか
 - いつまでに実行するか
- 評価
 - うまくいったこと、行かなかったこと
 - 次の目標は？

問題行動への対応(例)



行為障害と少年非行

- 非行少年処遇の流れ(生島,2001)



資料

少年院での矯正教育

LD学会から

非行少年の認知の特徴

- 動作性IQ優位

- 暴走族(集団化)
- 手口が巧妙
- 欲求、感情本意
- 衝動的
- 善悪の判断なし
- 作文が書けない

- 言語性IQ優位

- 非行少年らしくない
- 要領が悪い
- 不器用
- 孤立的
- 性犯罪、窃盗(単独)
- 理屈っぽい

刑務官の体験

- 独特の処遇しづらさ
- 指導したことが浸透しにくい
- 能力は普通程度あるのに・・・

宇治少年院での実践

- スクリーニングテスト
- 調査記録の情報点検
- 処遇現場の行動観察
- 処遇経過の検討
- 保護者からの情報収集

指導プログラム

- 「生きる力と自立を目指して - 幸福な生活」
- 結婚と就職
- 社会的適応力
- 社会的絆
- 自己管理、セルフコントロール

結婚と就職

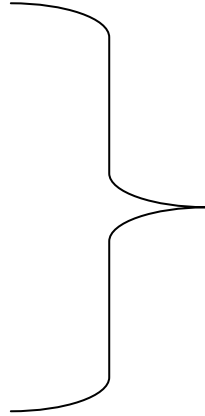
- 男女平等
- 民主的な家庭
- 役割交換
- よい人との交わりを大切にできるか

社会的適応力

- 既存の制度に積極的に関わられるか
- 学歴
- 資格
- 技能蓄積

社会的絆

- 愛着の絆
- 努力の絆
- 多忙の絆
- 規範意識の絆



築くことができるか

自己管理、セルフコントロール

- 対人関係の安定
- 手に技術を持つ

環境づくり

- 民主的で促進的な環境での生活・学習体験
- ある程度までは競争させない
- 安全で守られた環境
- 大人の責任

自己管理の力を高める

- 基礎体力、基礎学力
- しつけ
 - 基本的な生活習慣
 - 公共の場でのマナー
- 民主的な交わりの楽しさを経験させる
- 子どもを納得させて力を引き出す

指導の具体例

- 集団行動訓練
- ドリル等反復学習
- 日記指導は毎日添削
- カウンセリング

金子(2004):少年院における矯正教育

1. 少年法の改正(平成13年)
2. 少年非行の概要(全国)
3. 被害者の視点を取り入れた教育
 - 被害弁償
 - 感動体験
4. 保護者に対する働きかけ
 - 特殊教育学研究,41(4)